



2018年3月期 第2四半期決算説明会

京成電鉄株式会社
代表取締役社長

小林敏也

- 1. 経営概況**
2. E3プラン進捗状況
3. 2018年3月期 第2四半期連結決算
4. 2018年3月期 連結業績予想
5. 参考資料

運輸業、不動産業の好調により、営業収益・各利益項目はいずれも**過去最高**

(単位：億円)	2017/9 実績	2017/9 当初予想	増減 (率)
営業収益	1,258	1,238	+20 (1.6%)
営業利益 (営業利益率)	180 (14.3%)	160 (12.9%)	+20 (12.2%)
経常利益	269	232	+37 (16.1%)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	198	171	+27 (15.5%)

2018年3月期 連結業績予想

運輸業、不動産業の好調により、営業収益・営業利益は**過去最高**を予想

(単位：億円)	2018/3 今回予想	2018/3 当初予想	増減 (率)	E3プラン 数値目標
営業収益	2,590	2,579	+11 (0.4%)	-
営業利益 (営業利益率)	305 (11.8%)	295 (11.4%)	+10 (3.4%)	280以上 (11%以上)
経常利益	450	443	+7 (1.6%)	440以上
親会社株主に帰属 する当期純利益	320	320	-	-
有利子負債残高 (EBITDA倍率)	3,022 (5.5倍)	3,015 (5.6倍)	+7	上限3,250 (上限6.1倍)

※有利子負債残高にはリース債務を含む

※EBITDA倍率 = 有利子負債残高 ÷ (営業利益 + 減価償却費)

1. 経営概況
- 2. E3プラン進捗状況**
3. 2018年3月期 第2四半期連結決算
4. 2018年3月期 連結業績予想
5. 参考資料

■ E3プラン最終年度（2018年度） 数値目標

営業利益 280億円 以上	営業利益率 11%以上	経常利益 440億円 以上
----------------------------	-----------------------	----------------------------

有利子負債残高
上限3,250億円
(EBITDA倍率 上限6.1倍)

成長の実現
収益規模の拡大

成長への収益基盤確立

将来への投資
(戦略投資枠**400億円**の設定)

成長への基盤整備



財務健全性の向上

持続的な成長に向けた 収益拡大への挑戦

- ・ インバウンド市場の深耕
- ・ 事業機会を活かした収益拡大
- ・ 沿線エリアの魅力向上

安全かつ安心な サービスの提供

- ・ 安全・安心の確保並びに
サービス品質の向上

経営基盤の 一層の強化

- ・ 財務健全性の向上並びに
グループ経営体制の充実

1

インバウンド営業の強化

➤E3プラン基本戦略 1

2

賃貸資産の拡充

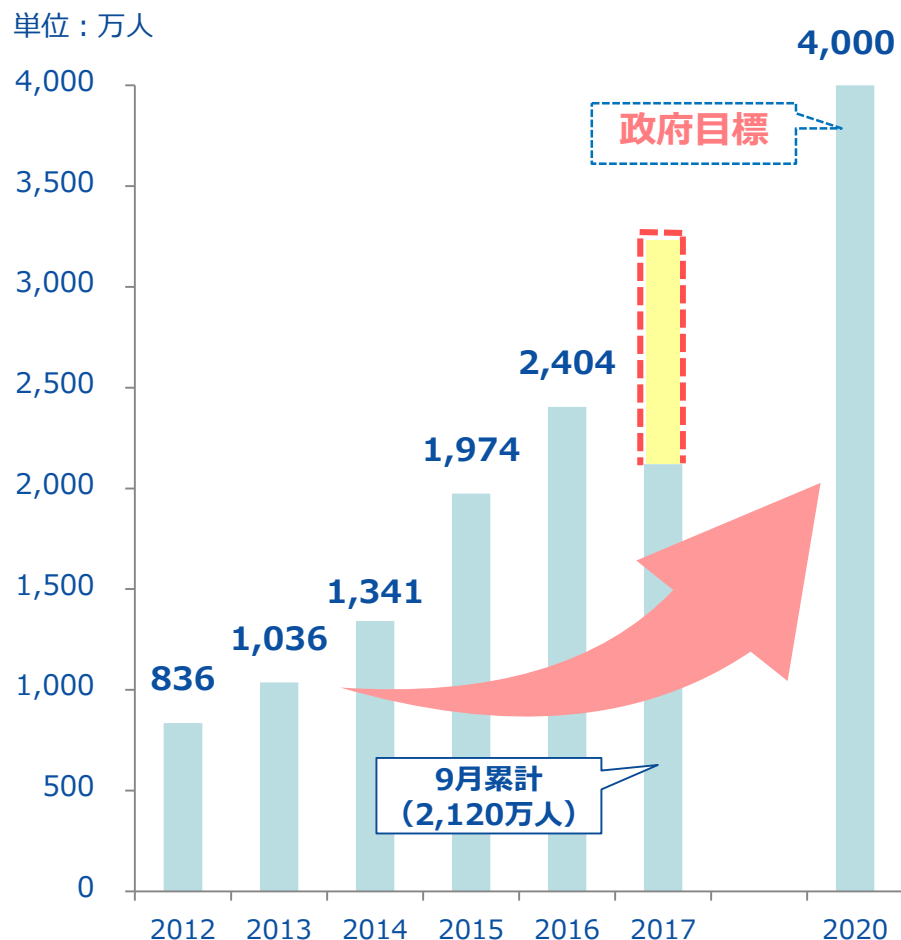
➤E3プラン基本戦略 2・3

3

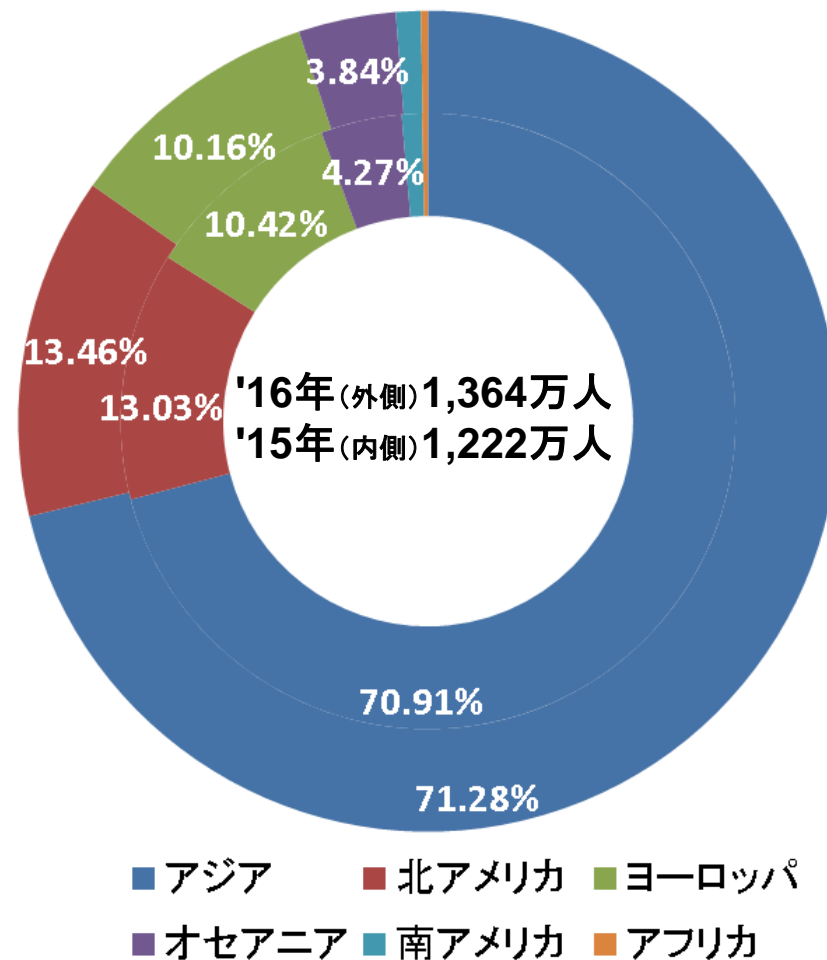
安全性・信頼性の向上

➤E3プラン基本戦略 4

訪日外国人の推移



成田空港の出入国人員



出典：法務省「出入国管理統計」

■ 訪日外国人向け商品の販売促進(海外)

- ▶ 海外現地旅行会社等での企画乗車券販売
- 2015年度8ヶ国19社
→2017年度10ヶ国25社



- ▶ 海外旅行博への出展拡大
- 2015年度2ヶ国
→2017年度9ヶ国(予定)
- ▶ 韓国の空港鉄道と企画乗車券を相互販売

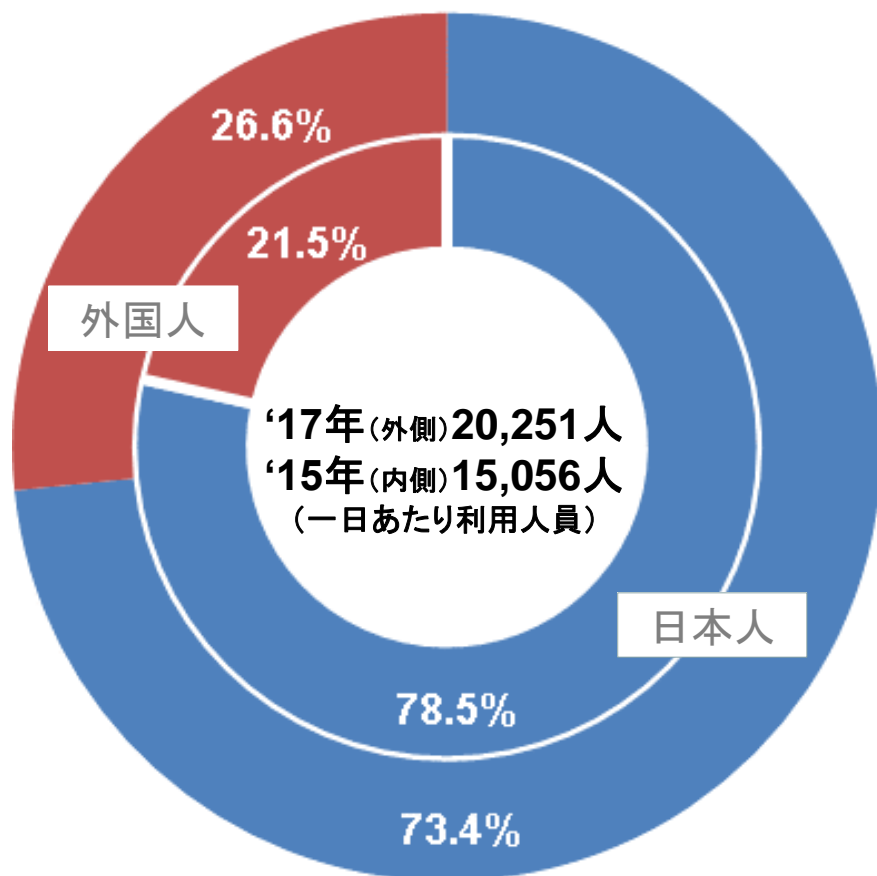
■ 訪日外国人向け商品の販売促進(国内)

- ▶ 成田空港に新設された「ビジター・サービスセンター」において企画乗車券を販売



- ▶ 東武鉄道・西武鉄道と企画乗車券を相互販売
- ▶ 都内ホテルにおいて企画乗車券を販売
- 三井ガーデンホテル汐留イタリア街
新宿プリンスホテル等、計4ヶ所で販売

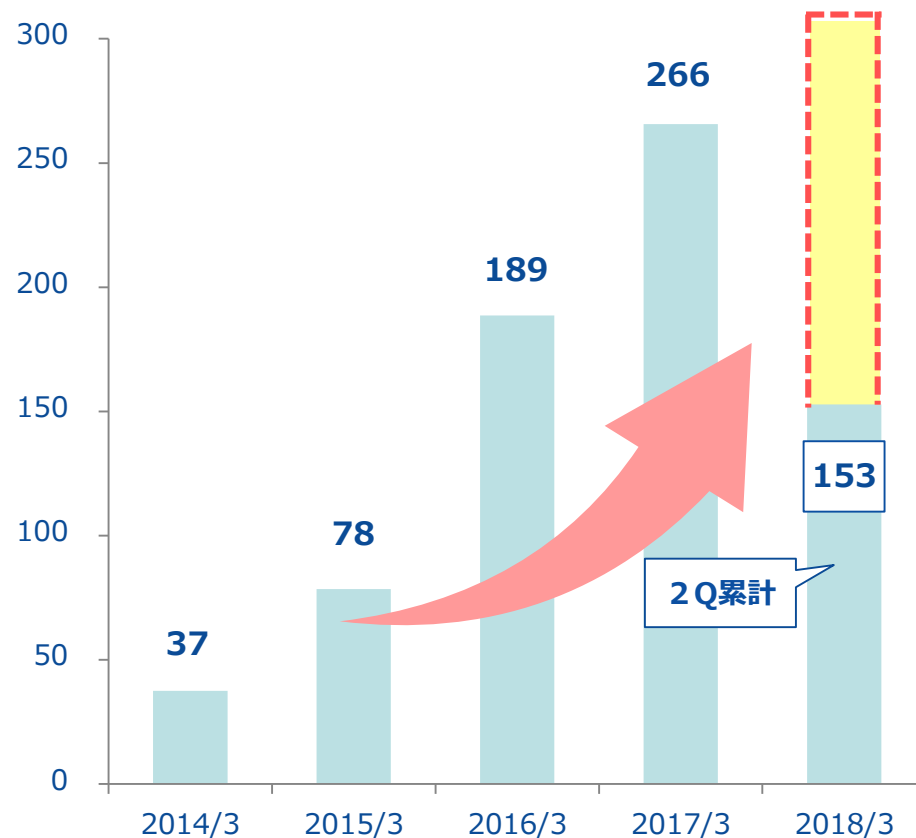
当社空港線を利用する外国人比率



出典：当社実施調査

Keisei Skyliner & Tokyo Subway Ticket ・スカイライナークーポン販売実績

単位：千枚



■ 成田空港アクセスの利便性向上・輸送力増強

- スカイライナー車両1編成を増備(2019年度予定)
- 旅客ニーズに合わせたダイヤ改正の実施(2017年10月) - スカイライナーを増発
- スカイライナー利用者累計2,500万人達成



- 東京シャトル利用者累計500万人達成



■ 魅力ある駅空間の創造

- 上野駅リニューアル工事を推進



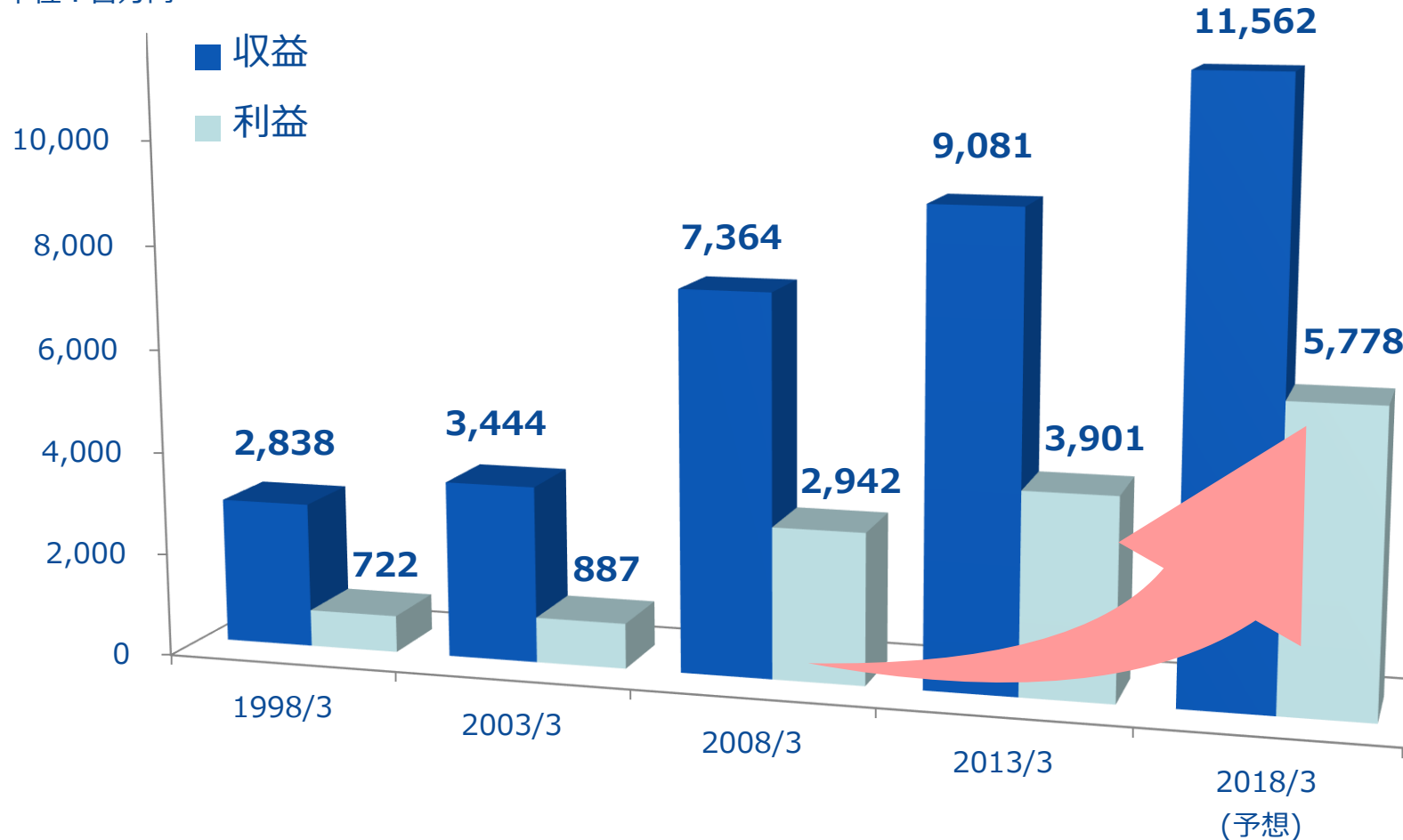
- 空港2駅にインフォメーションセンターを設置



収益性の高い賃貸物件の取得や保有資産の高度利用を着実に推進

当社賃貸業 収益・利益の推移

単位：百万円



■ 収益賃貸物件の取得

- 2017年度 上期（4物件取得）



八千代市賃貸住宅



葛飾区賃貸住宅

■ 沿線保有資産の高度利用

- 低利用土地・グループ会社土地の活用を推進
- 高架下開発を推進



江東区ホテル



船橋市高架下保育施設

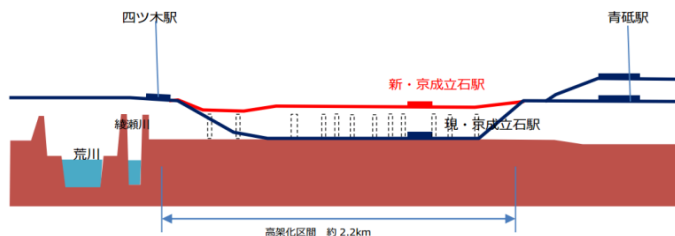
■安全対策の強化

- 駅ホームにおける安全対策の強化
 - －固定柵の設置（上野駅）（2017年10月）
 - －ホームドアの設置（日暮里駅）（2018年3月予定）



日暮里駅ホームドア（イメージ）

- 葛飾区内連続立体交差化（四ツ木駅～青砥駅間）
 - －区間内11ヶ所の踏切を廃止予定



■サービス品質の向上

- 盲導犬ユーザー等対応講習を開催



■鉄道テロ対策の強化

- 東京五輪開催を見据え各種訓練を実施
- スカイライナー防犯カメラの機能向上



東京五輪開催に向けた信頼性の向上

➤ リフト付き高速バスの導入



➤ Japan Taxi (UDタクシー※) 出発式に参加



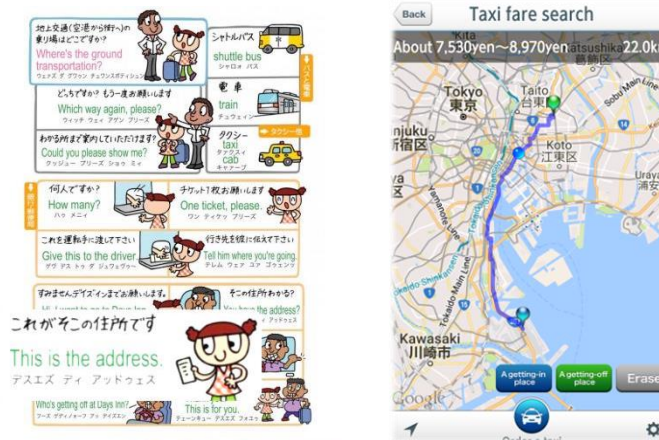
帝都自動車交通

※ユニバーサルデザインタクシー

➤ 高速バスへテレビ電話型通訳サービス導入



➤ 都内タクシーに訪日外国人向けアプリ導入



■ 優良な住環境の提供

- マンション分譲
 - サングランデ ザ・レジデンス千葉
ウエストレジデンス 98戸 完売
(2017年7月)
 - サングランデ津田沼
81戸 販売開始 (2017年9月)
- 不動産仲介業の強化
 - 京成不動産 上野センターオープン



サングランデ ザ・レジデンス千葉



京成不動産 上野センター



サングランデ津田沼

■ 宿泊主体型ホテル事業への参入

- ▶ 合併会社の設立（2017年4月）
 - 第1号ホテルとして（仮称）京成リッチモンドホテル東京門前仲町（客室数123室）の開業を予定（2018年度）
 - 第2号以降の検討を加速

■ 沿線自治体等との連携強化

- ▶ 「連携・協力に関する包括協定書」を東京藝術大学と締結
 - 京成エリアの魅力向上や文化・観光の振興に関し連携・協力を推進



■ 地域社会への貢献

- ▶ 京成きっずアカデミー開催
 - 小学生を対象に、グループ各社で職場体験を実施



1. 経営概況
2. E3プラン進捗状況
- 3. 2018年3月期 第2四半期連結決算**
4. 2018年3月期 連結業績予想
5. 参考資料

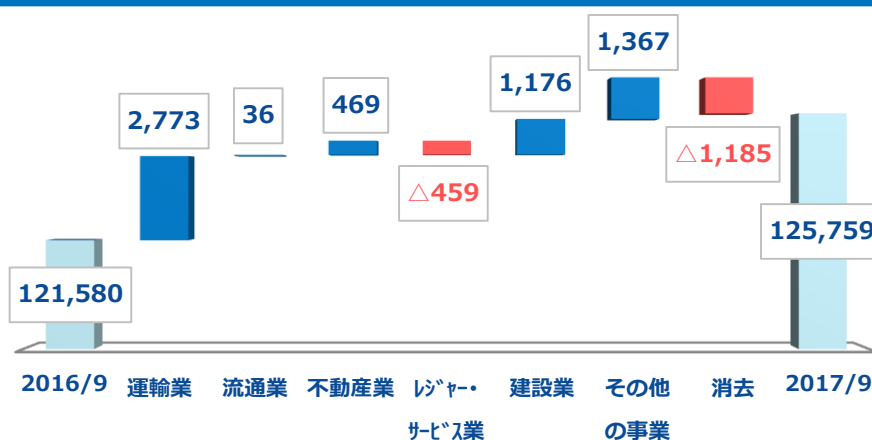
業績概要（前年同期比較）

営業収益・各利益項目はいずれも**過去最高**

単位：百万円、%	2017/9 実績	2016/9 実績	増減	率
営業収益	125,759	121,580	4,178	3.4
営業利益	17,955	17,253	701	4.1
（営業利益率）	14.3	14.2	0.1pt	-
経常利益	26,925	25,263	1,661	6.6
持分法投資利益	9,686	9,057	629	6.9
親会社株主に帰属 する四半期純利益	19,752	19,005	747	3.9
減価償却費	12,063	11,606	456	3.9

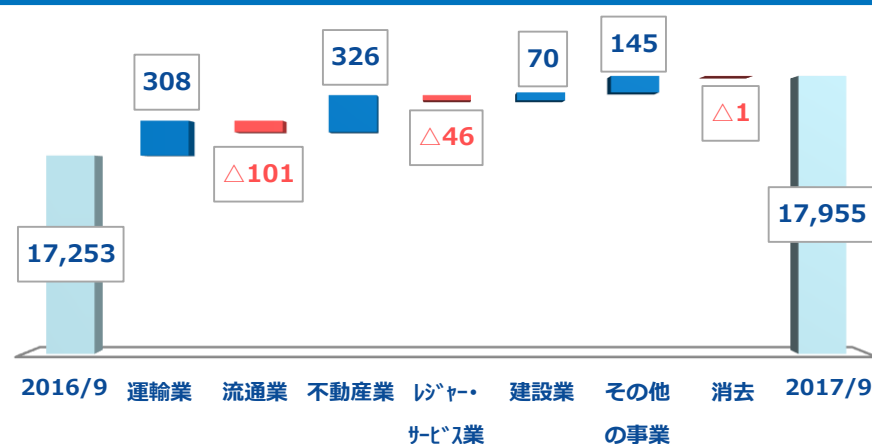
■ 営業収益増減（セグメント別）

（単位：百万円）



■ 営業利益増減（セグメント別）

（単位：百万円）



セグメント別業績（運輸業）

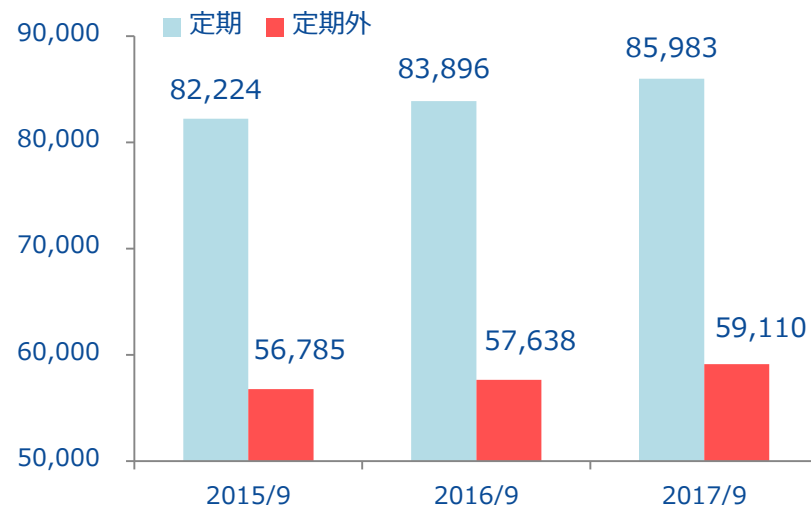
鉄道事業・バス事業で成田空港輸送が好調に推移し、**増収増益**

単位：百万円、%	2017/9 実績	2016/9 実績	増減	率	増減要因
営業収益	74,528	71,755	2,773	3.9	
鉄道事業	39,817	38,304	1,512	3.9	成田空港輸送の増
バス事業	22,717	22,171	546	2.5	高速バス収入の増
タクシー事業	11,993	11,278	714	6.3	帝都葛飾交通の通期寄与
営業利益	13,918	13,609	308	2.3	
鉄道事業	10,435	9,887	548	5.5	修繕費等の費用増
バス事業	3,041	3,207	△165	△5.2	人件費等の費用増
タクシー事業	440	515	△74	△14.4	
減価償却費	10,009	9,565	444	4.6	

■ 輸送人員

単位：千人、%	2017/9 実績	2016/9 実績	増減	率
定期	85,983	83,896	2,087	2.5
定期外	59,110	57,638	1,472	2.6
合計	145,093	141,534	3,559	2.5

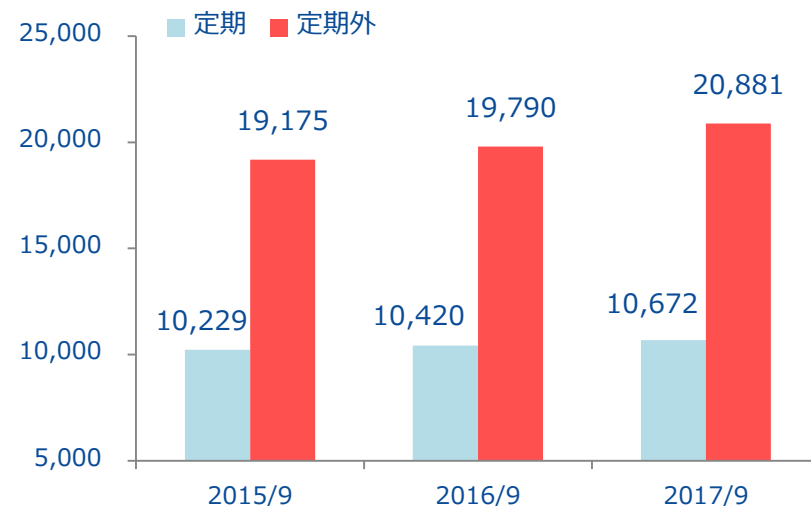
単位：千人



■ 旅客運輸収入

単位：百万円、%	2017/9 実績	2016/9 実績	増減	率
定期	10,672	10,420	251	2.4
定期外	20,881	19,790	1,090	5.5
合計	31,553	30,211	1,342	4.4

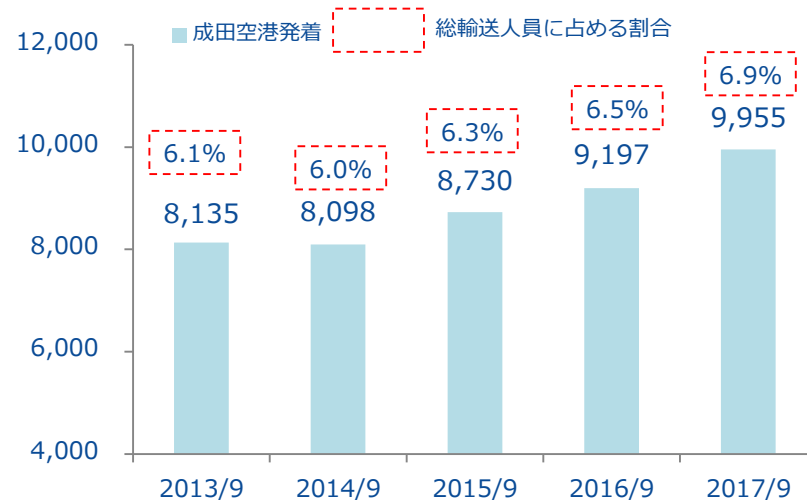
単位：百万円



■ 輸送人員

単位：千人、%	2017/9 実績	2016/9 実績	増減	率
成田空港発着	9,955	9,197	758	8.2
有料特急	2,706	2,441	265	10.9

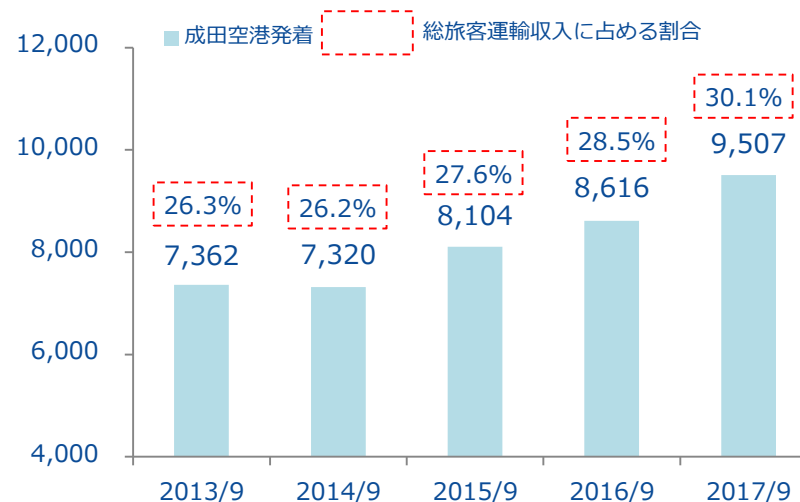
単位：千人



■ 旅客運輸収入

単位：百万円、%	2017/9 実績	2016/9 実績	増減	率
成田空港発着	9,507	8,616	890	10.3
有料特急	2,567	2,328	239	10.3

単位：百万円



百貨店業の増収やストア業の新店効果により**増収**、ストア業の人件費増により**減益**

単位：百万円、%	2017/9 実績	2016/9 実績	増減	率	増減要因
営業収益	34,005	33,969	36	0.1	
ストア業	18,574	18,553	20	0.1	新店開業による増、店舗閉鎖による減 ※
百貨店業	12,565	12,456	108	0.9	
その他	2,866	2,959	△92	△3.1	
営業利益	334	435	△101	△23.3	※主な新店等 京成ストア（リブレ京成） ・国府台駅前店 閉店（2016年5月） コミュニティー京成（ファミリーマート） ・京成津田沼駅構内店 オープン（2016年9月） ・青砥駅下りホーム店 オープン（2017年2月） ・青砥駅上りホーム店 オープン（2017年2月）
ストア業	236	329	△92	△28.2	
百貨店業	0	△9	9	-	
その他	97	115	△17	△15.6	
スーパーマーケット店舗数 ※	20	20	-	-	
コンビニエンスストア店舗数 ※	46	44	2	-	

セグメント別業績（不動産業）

リフォーム売上の増、新規賃貸物件の稼働等により、**増収増益**

単位：百万円、%	2017/9 実績	2016/9 実績	増減	率	増減要因
営業収益	8,574	8,104	469	5.8	
販売業	1,329	1,051	278	26.5	リフォーム売上の増
賃貸業	5,470	5,198	272	5.2	新規賃貸物件の稼働及び通期寄与 ※
管理業	1,773	1,854	△80	△4.4	
営業利益	3,122	2,795	326	11.7	※主な新規賃貸物件
販売業	85	△43	128	-	新規賃貸物件
賃貸業	2,918	2,723	195	7.2	・押上線高架下 飲食店他（2016年10月～）
管理業	117	115	1	1.7	・四街道市 商業施設（2016年12月）
					・土浦市 商業施設（2017年3月）
					・江東区 ホテル（2017年4月）
減価償却費	1,535	1,473	61	4.2	
マンション 販売戸数（戸）	0	0	-	-	

セグメント別業績 (レジャー・サービス業、建設業、その他の事業)

■ レジャー・サービス業

単位：百万円、%	2017/9 実績	2016/9 実績	増減	率	増減要因
営業収益	4,333	4,793	△459	△9.6	遊技場業の撤退
営業利益	15	62	△46	△74.4	

■ 建設業

単位：百万円、%	2017/9 実績	2016/9 実績	増減	率	増減要因
営業収益	8,741	7,565	1,176	15.6	完成工事高の増
営業利益	385	315	70	22.4	

■ その他の事業

単位：百万円、%	2017/9 実績	2016/9 実績	増減	率	増減要因
営業収益	3,501	2,134	1,367	64.1	京成オートサービスの新規連結
営業利益	139	△6	145	-	

連結貸借対照表/連結キャッシュ・フロー計算書

- ・自己資本の増加、有利子負債の削減により、自己資本比率は上昇
- ・新規賃貸物件等の取得に伴い、投資支出が増加

■ 連結貸借対照表

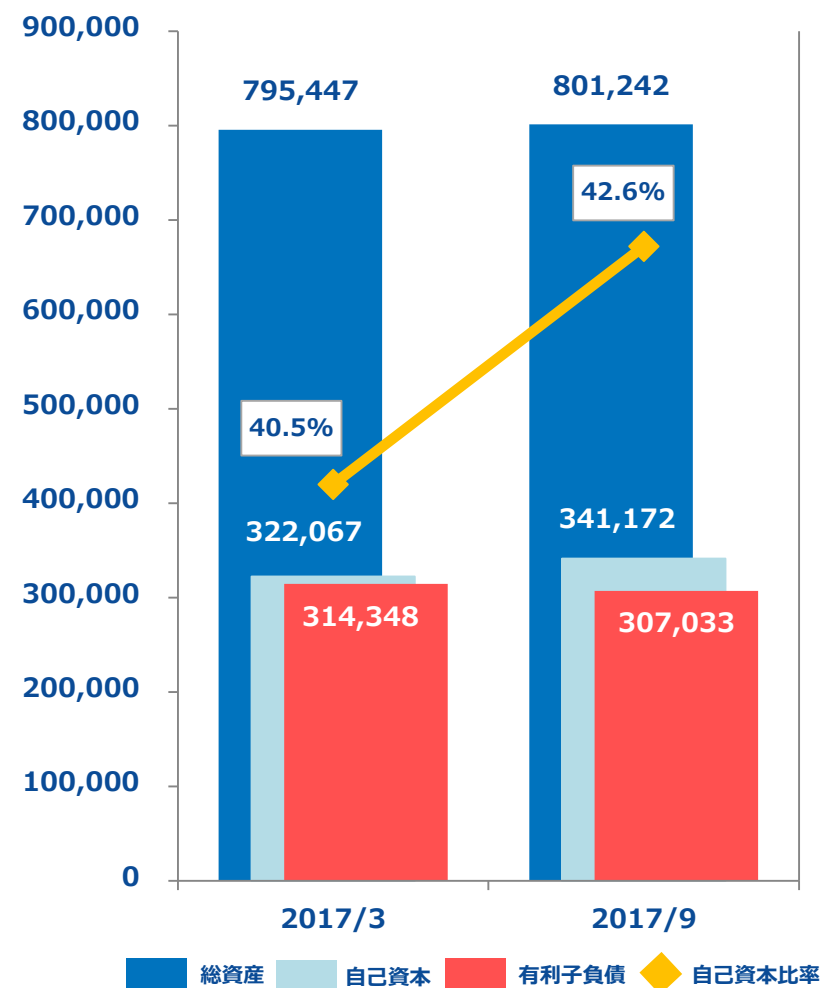
単位：百万円、%	2017/9 実績	2017/3 実績	増減
総資産	801,242	795,447	5,795
有利子負債残高 ※	307,033	314,348	△7,314
純資産	352,271	332,344	19,926
自己資本	341,172	322,067	19,105
自己資本比率	42.6	40.5	2.1pt

※リース債務を含む

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円	2017/9 実績	2016/9 実績	増減
営業CF	21,480	18,338	3,141
投資CF	△10,323	△5,644	△4,679
(フリーCF)	(11,156)	(12,694)	(△1,537)
財務CF	△9,572	△18,337	8,765
現金及び 現金同等物の増減額	1,584	△5,642	7,227

単位：百万円



1. 経営概況
2. E3プラン進捗状況
3. 2018年3月期 第2四半期連結決算
- 4. 2018年3月期 連結業績予想**
5. 参考資料

業績予想概要（前期比較）

営業収益・営業利益は過去最高

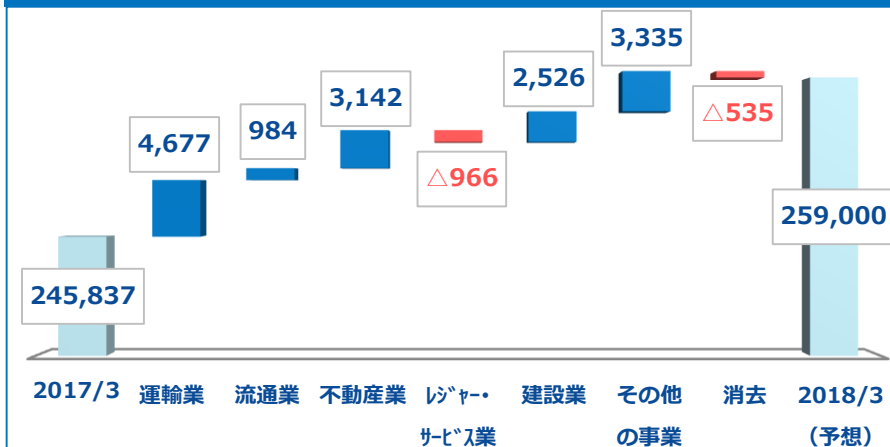
単位：百万円、%	2018/3 今回予想	2017/3 実績	増減	率
営業収益	259,000	245,837	13,162	5.4
営業利益	30,500	30,048	451	1.5
（営業利益率）	11.8	12.2	△0.4pt	-
経常利益	45,000	47,064	△2,064	△4.4
持分法投資利益	15,800	18,991	△3,191	△16.8
親会社株主に帰属 する当期純利益	32,000	35,711	△3,711	△10.4
減価償却費	24,800	23,891	908	3.8
有利子負債残高 ※	302,200	314,348	△12,148	△3.9
EBITDA倍率 （倍）※	5.5	5.9	△0.4pt	-

※EBITDA倍率 = 有利子負債残高 ÷ (営業利益 + 減価償却費)

なお、有利子負債残高にはリース債務を含む

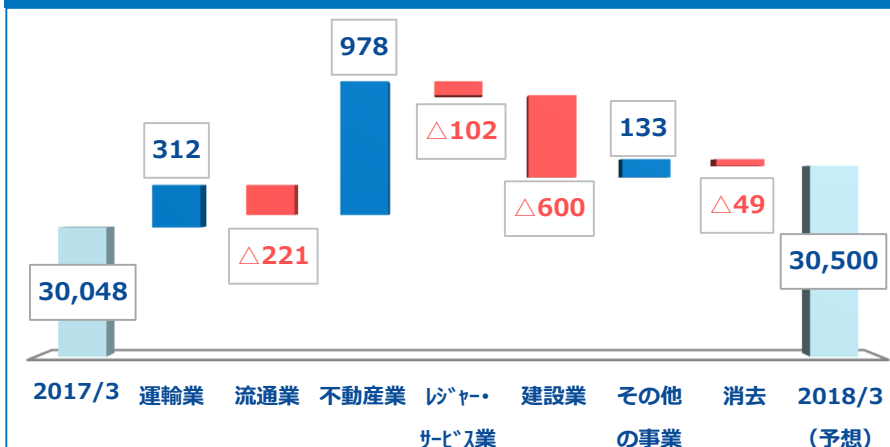
■ 営業収益増減（セグメント別）

（単位：百万円）



■ 営業利益増減（セグメント別）

（単位：百万円）



セグメント別業績予想（運輸業）

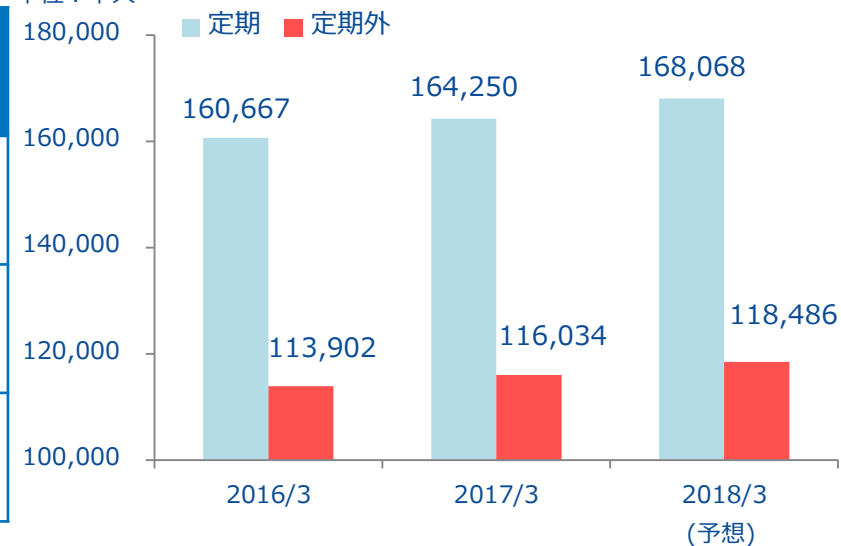
鉄道事業・バス事業で成田空港輸送が好調に推移し、**増収増益**

単位：百万円、%	2018/3 今回予想	2017/3 実績	増減	率	増減要因
営業収益	149,000	144,322	4,677	3.2	
鉄道事業	79,700	76,980	2,719	3.5	成田空港輸送の増
バス事業	45,200	44,182	1,017	2.3	高速バス収入の増
タクシー事業	24,100	23,159	940	4.1	帝都葛飾交通の通期寄与
営業利益	21,600	21,287	312	1.5	
鉄道事業	16,400	15,926	473	3.0	修繕費等の費用増
バス事業	4,300	4,527	△227	△5.0	減価償却費等の費用増
タクシー事業	900	832	67	8.1	
減価償却費	20,500	19,818	681	3.4	

■ 輸送人員

単位：千人、%	2018/3 今回予想	2017/3 実績	増減	率
定期	168,068	164,250	3,818	2.3
定期外	118,486	116,034	2,452	2.1
合計	286,554	280,284	6,270	2.2

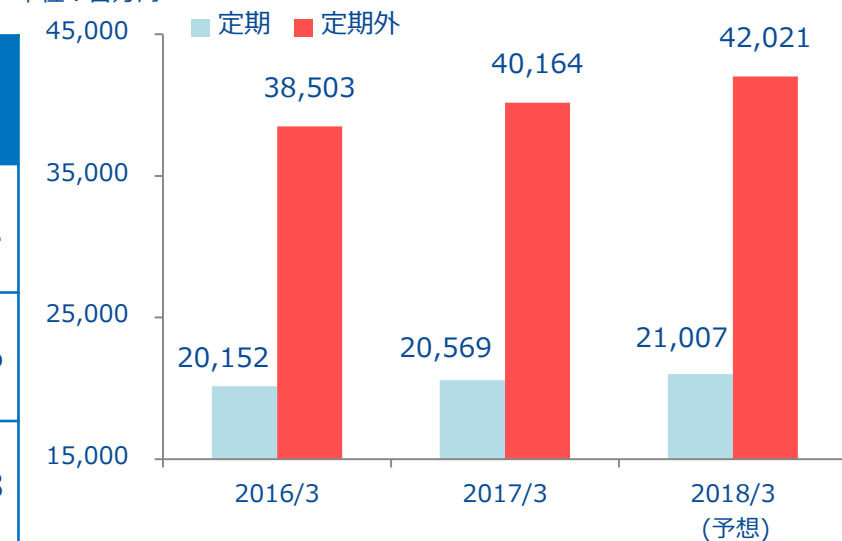
単位：千人



■ 旅客運輸収入

単位：百万円、%	2018/3 今回予想	2017/3 実績	増減	率
定期	21,007	20,569	437	2.1
定期外	42,021	40,164	1,856	4.6
合計	63,028	60,734	2,294	3.8

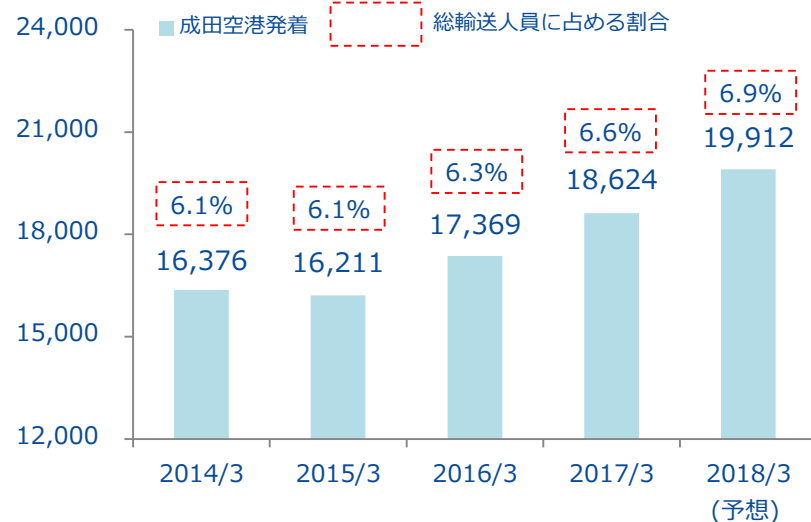
単位：百万円



■ 輸送人員

単位：千人、%	2018/3 今回予想	2017/3 実績	増減	率
成田空港発着	19,912	18,624	1,288	6.9
有料特急	5,498	5,018	480	9.6

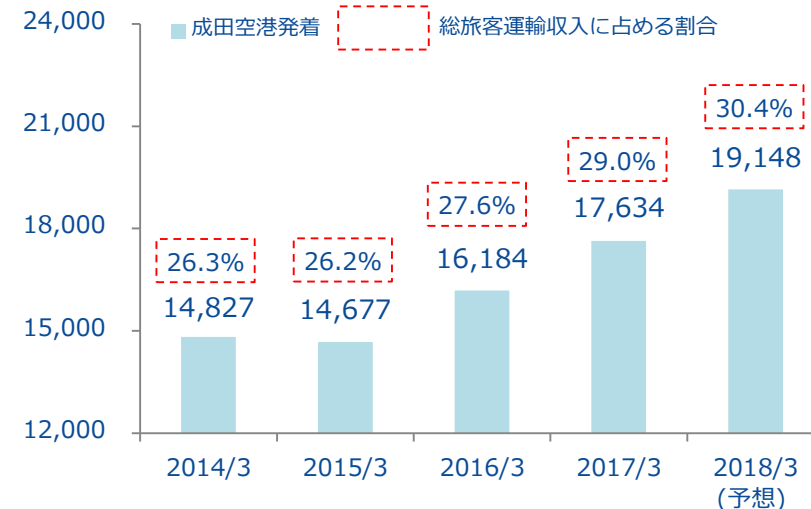
単位：千人



■ 旅客運輸収入

単位：百万円、%	2018/3 今回予想	2017/3 実績	増減	率
成田空港発着	19,148	17,634	1,514	8.6
有料特急	5,204	4,780	424	8.9

単位：百万円



セグメント別業績予想（流通業）

百貨店業の増収やストア業の新店効果により**増収**、ストア業の人件費増により**減益**

単位：百万円、%	2018/3 今回予想	2017/3 実績	増減	率	増減要因
営業収益	69,400	68,415	984	1.4	
ストア業	37,100	36,978	121	0.3	新店開業による増 ※
百貨店業	26,000	25,492	507	2.0	
その他	6,300	5,944	355	6.0	
営業利益	700	921	△221	△24.1	※主な新店等 京成ストア（リブレ京成） ・リブレキッチン国府台店 オープン（2017年9月） コミュニティー京成（ファミリーマート） ・京成津田沼駅構内店 オープン（2016年9月） ・青砥駅下りホーム店 オープン（2017年2月） ・青砥駅上りホーム店 オープン（2017年2月）他
ストア業	400	575	△175	△30.5	
百貨店業	100	51	48	95.2	
その他	200	294	△94	△32.2	
スーパーマーケット店舗数 ※	21	20	1	-	
コンビニエンスストア店舗数 ※	50	46	4	-	

セグメント別業績予想（不動産業）

マンション販売戸数の増、新規賃貸物件の稼働等により**増収増益**

単位：百万円、%	2018/3 今回予想	2017/3 実績	増減	率	増減要因
営業収益	20,600	17,457	3,142	18.0	
販売業	5,700	3,561	2,138	60.0	マンション販売戸数の増 ※
賃貸業	11,100	10,487	612	5.8	新規賃貸物件の稼働及び通期寄与 ※
管理業	3,800	3,408	391	11.5	
営業利益	6,600	5,621	978	17.4	※主な分譲マンション・新規賃貸物件
販売業	800	176	623	352.4	分譲マンション（2016年度） ・サングランデ松戸 36戸（2017年3月引渡）
賃貸業	5,600	5,228	371	7.1	分譲マンション（2017年度） ・サングランデ ザ・レジデンス千葉 ウエストレジデンス 98戸（2018年2月引渡予定）
管理業	200	216	△16	△7.6	新規賃貸物件
減価償却費	3,100	2,964	135	4.6	・押上線高架下 飲食店他（2016年10月～） ・四街道市 商業施設（2016年12月）
マンション 販売戸数（戸）※	98	36	62	—	・土浦市 商業施設（2017年3月） ・江東区 ホテル（2017年4月）

セグメント別業績予想 (レジャー・サービス業、建設業、その他の事業)

■ レジャー・サービス業

単位：百万円、%	2018/3 今回予想	2017/3 実績	増減	率	増減要因
営業収益	9,200	10,166	△966	△9.5	遊技場業の撤退
営業利益	200	302	△102	△33.9	

■ 建設業

単位：百万円、%	2018/3 今回予想	2017/3 実績	増減	率	増減要因
営業収益	24,200	21,673	2,526	11.7	完成工事高の増
営業利益	900	1,500	△600	△40.0	利益率の低下

■ その他の事業

単位：百万円、%	2018/3 今回予想	2017/3 実績	増減	率	増減要因
営業収益	8,400	5,064	3,335	65.9	京成オートサービスの新規連結
営業利益	400	266	133	50.3	

業績予想概要（当初予想比較）

鉄道事業・バス事業で成田空港輸送の増加を見込み、当初予想を**上方修正**

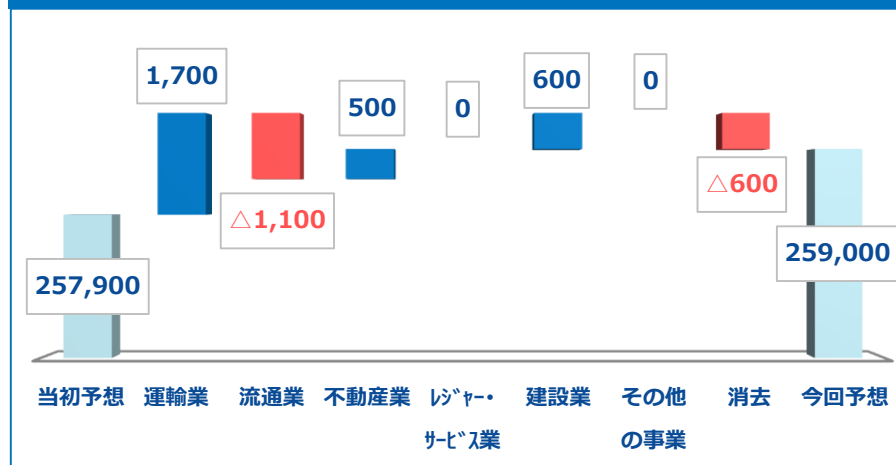
単位：百万円、%	2018/3 今回予想	2018/3 当初予想	増減	率
営業収益	259,000	257,900	1,100	0.4
営業利益	30,500	29,500	1,000	3.4
（営業利益率）	11.8	11.4	0.4pt	-
経常利益	45,000	44,300	700	1.6
持分法投資利益	15,800	16,300	△500	△3.1
親会社株主に帰属 する当期純利益	32,000	32,000	-	-
減価償却費	24,800	25,000	△200	△0.8
有利子負債残高 ※	302,200	301,500	700	0.2
EBITDA倍率 （倍）※	5.5	5.6	△0.1pt	-

※EBITDA倍率 = 有利子負債残高 ÷ (営業利益 + 減価償却費)

なお、有利子負債残高にはリース債務を含む

■ 営業収益増減（セグメント別）

（単位：百万円）



■ 営業利益増減（セグメント別）

（単位：百万円）



- 戦略投資枠…中長期的な収益拡大及びサービス・安全性の向上に資する投資を対象に、「E3プラン」で最大400億円を設定。

戦略投資枠活用方針

具体的案件（予定含む）

鉄道事業

- 東京オリンピック開催に向けた駅施設・車両の改善
- 訪日外国人受入体制強化のための駅施設リニューアル

- 上野駅リニューアル
- 空港駅リニューアル
- 券売機多言語化
- ホームドア設置

開発事業

- 不動産賃貸資産の取得

- 四街道市商業施設
- 八千代台賃貸住宅
- 帝都旧本社跡地開発

その他の事業

- M & A 及び新会社への出資、グループ会社への投融資
- グループ会社が行う投資案件

- 帝都葛飾交通取得
- 宿泊主体型ホテル会社設立
- BRT会社設立

1

運輸業の持続的発展

2

不動産賃貸業を第2の柱へ

3

事業基盤の拡大

1. 経営概況
2. E3プラン進捗状況
3. 2018年3月期 第2四半期連結決算
4. 2018年3月期 連結業績予想
5. **参考資料**

グループ経営理念

京成グループは、お客様に喜ばれる良質な商品・サービスを、安全・快適に提供し、健全な事業成長のもと、社会の発展に貢献致します。

経営理念

長期経営計画
「EVOLUTION PLAN」

中期経営計画
(3カ年計画)

長期経営計画「EVOLUTION PLAN」 (= Eプラン) 〔2010年度～2021年度 12ヶ年〕

E1プラン
(2010～2012年度)

E2プラン
(2013～2015年度)

E3プラン
(2016～2018年度)

E4プラン
(2019～2021年度)

グループ事業の中核である交通運輸事業の競争力・収益力を更に強化すると共に、千葉県北西部（特に京成線・新京成線・北総線沿線）並びに東京都東部を地盤として地域に密着した堅実な総合生活産業を展開し、地域経済を代表する企業グループの地位を拡充する。

■ 最終年度（2021年度）数値目標

営業収益
2,800億円以上

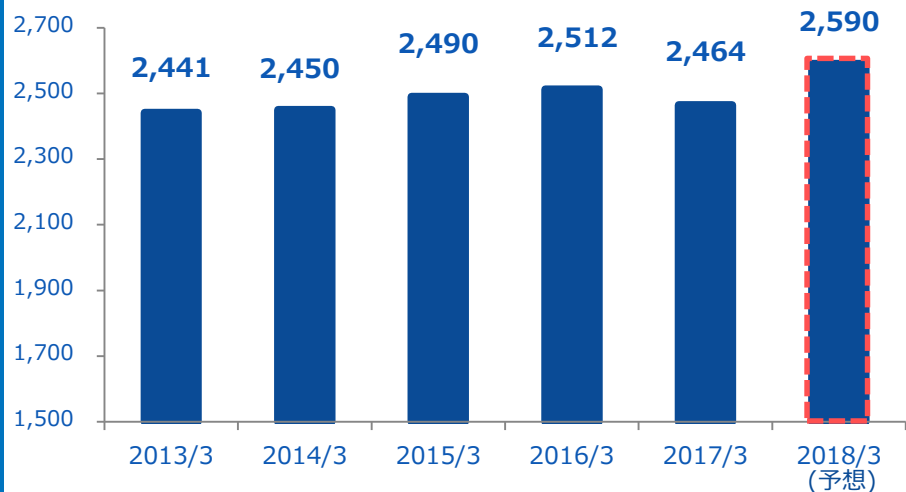
営業利益率
10%以上

有利子負債残高
3,500億円以下
(EBITDA倍率 7倍以下)

長期経営計画「Eプラン」の進捗

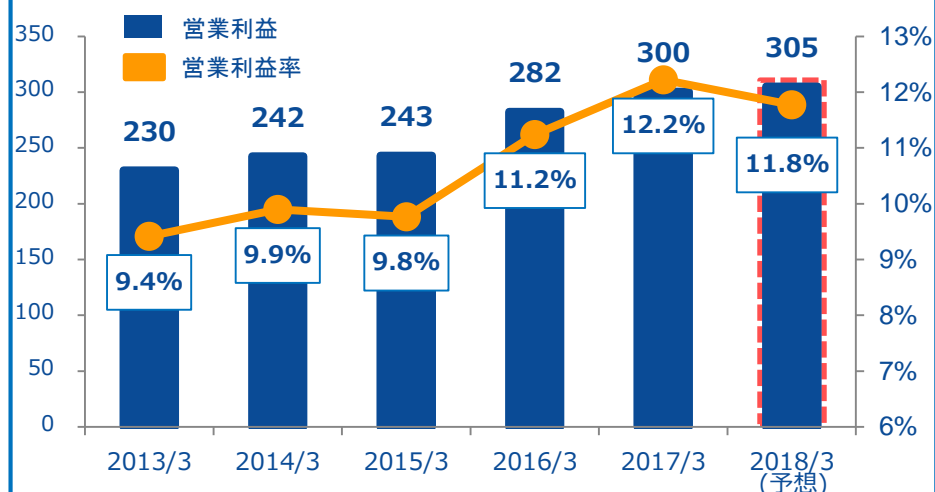
■ 営業収益

(単位：億円)



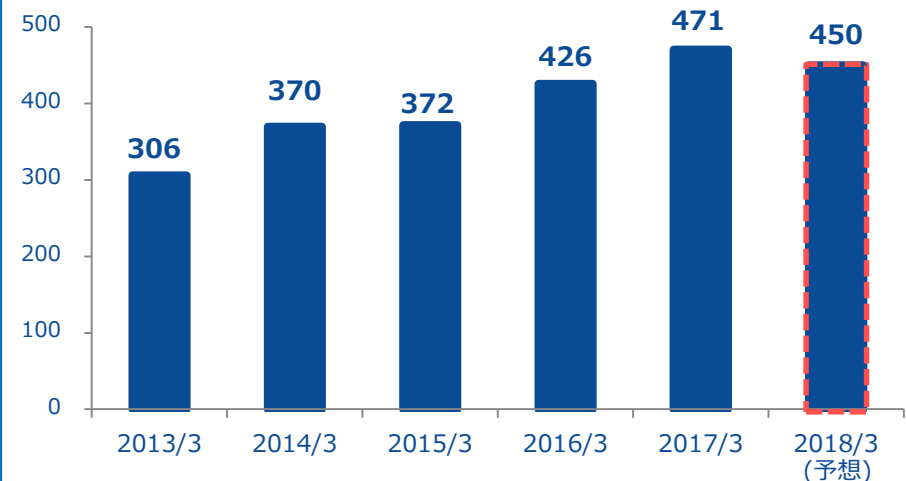
■ 営業利益・営業利益率

(単位：億円、%)



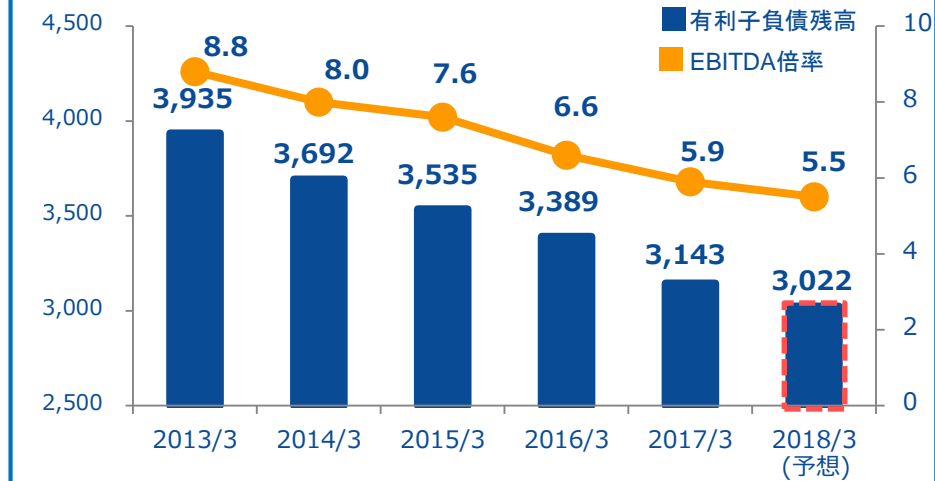
■ 経常利益

(単位：億円)



■ 有利子負債・EBITDA倍率

(単位：億円、倍)

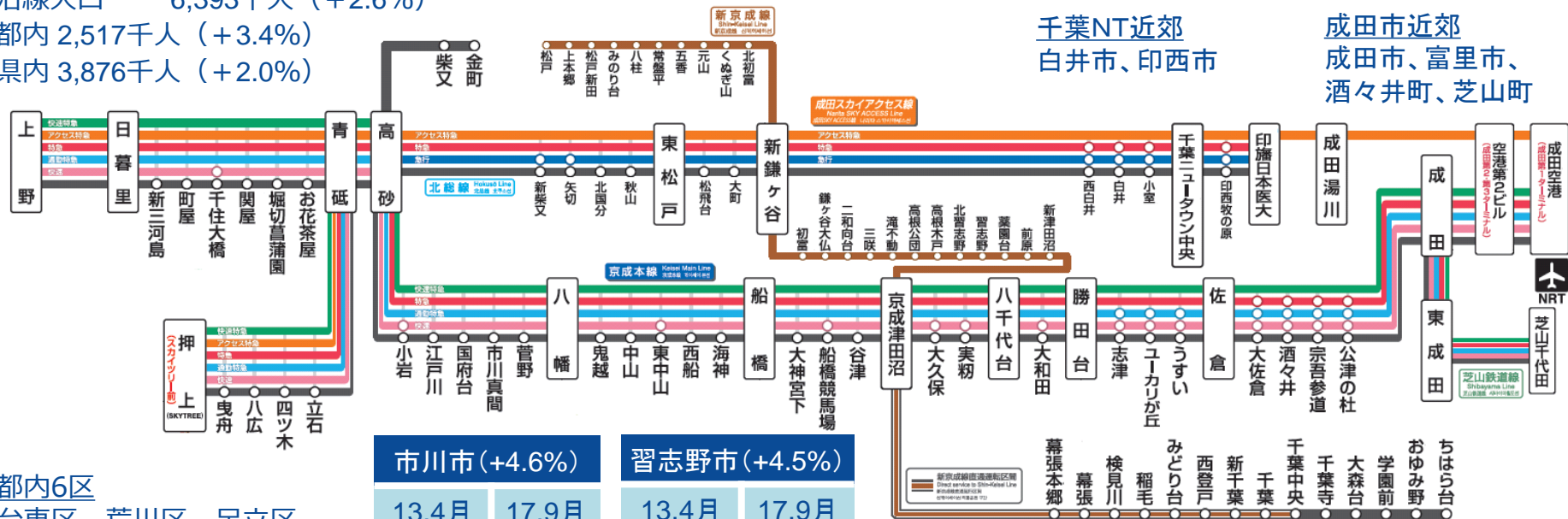


2017年9月、2013年4月（前中期経営計画「E2プラン」初年度）比

単位：千人

京成エリア 東京都東部・千葉県
 営業距離 178.8km(当社、北総、新京成)
 駅数 102駅
 自治体数 都内6区、県内13市2町
 沿線人口 6,393千人 (+2.6%)
 都内 2,517千人 (+3.4%)
 県内 3,876千人 (+2.0%)

松戸市(+1.7%)		鎌ヶ谷市(+0.5%)		千葉NT近郊(+4.5%)		成田市近郊(+0.8%)	
13.4月	17.9月	13.4月	17.9月	13.4月	17.9月	13.4月	17.9月
480	488	109	109	152	159	209	210



都内6区
 台東区、荒川区、足立区
 葛飾区、江戸川区、墨田区

都内6区(+3.4%)		市川市(+4.6%)		習志野市(+4.5%)		船橋市(+3.1%)		八千代市(+3.0%)		佐倉市(+0.0%)		千葉市(+1.2%)		市原市(△1.9%)	
13.4月	17.9月	13.4月	17.9月	13.4月	17.9月	13.4月	17.9月	13.4月	17.9月	13.4月	17.9月	13.4月	17.9月	13.4月	17.9月
2,435	2,517	468	490	165	172	613	632	190	195	172	172	964	975	278	273

数値は自治体公表値による

本資料の情報のうち、過去の事実以外のものは将来の見通しであり、リスクや不確実性を含んだものです。実際には様々な要因により異なる結果となる場合があることをご承知おきください。

本資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。
<http://www.keisei.co.jp/keisei/ir/index.html>